

平成28年度事業報告

総 評

今年度は7名の退職者がありました。うち人材枯渇が叫ばれている介護職員（非常勤）2名の退職がありました。退職理由として1名は疾病による退職、もう1名は出産に伴う退職となりました。新たに非常勤介護職員として2名を採用し前年度の介護人材については安定経営が図られましたが、人材確保の状況は非常に厳しい状況には変わりありません。

経営の視点から特養・通所介護の稼働率も前年に比べ上昇傾向がみられますが依然として厳しい傾向には変わりはありません。再度通所介護の原点「利用者の在宅生活の継続と自立した日常生活の支援」目標達成のために「社会的孤立感の解消、心身の機能の維持、家族の負担軽減」という役割を日々実践し、もう一步サービスという視点で捉え、現在の知識・技術力及び付帯設備の有効活用の検討を図り外房に来て良かったと言えるサービスを心がけていきたいと思えます。

(1) 組織体制の整備について

介護人材枯渇の中、現有人数による効率的な運用体制の整備を実施。

(2) 地域包括ケアへのシステムへの検討について

地域包括ケアへのアプローチとしてオレンジ喫茶の見学。

社会福祉法人が運営し他の2件はNPO法人が民家を借り受け実施している。NPO法人が実施している2件の共通点は民家を借り受け「団欒」アットホームの雰囲気の中、各自思い思いの過ごし方が印象に残りました。

各施設の共通の悩みは利用者の足確保をあげていました。これらの見学を参考に、職員及び行政・地域住民と協議を重ね実施体制の確立を図り開設に向けた取り組みを実施。

実施意義

認知症の人	自ら活動し、楽しめる場所
家 族	わかり合える人と出会う場所
専 門 職	人としてふれあえる場所
地 域 住 民	住民同士の交流や認知症への理解を深める場所

域包括ケア推進検討会

〈具体的な取組〉

実施日	会議テーマ
7月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・御宿町予防事業への取り組み及び御宿町の現状について ・地域ケア会議について ・元気高齢者の活躍サポート事業について
8月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援コーディネーターの説明
11月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・CCRCについて ・生活支援体制整備について ・医療・介護連携事業について

28年度 ケア目標評価

ケア目標：ケアの透明化
 大事な肉親が最後に生活を送る場所として、安心して過ごせる施設を目指す。
 お客様、職員の関係性を深める

*具体的な取り組み実施

- ・ご家族の状況や家族関係、ニーズ、性格などの把握に努め、それぞれのご家族に合った。対応を図り信頼関係を築いた。
- ・ご家族の心の状態に目を向ける為に以下を実施した。
 - ①面会時や担当者会議時に、ご家族の話しや悩みを聴き、ご家族の抱える苦痛を受容し共感する事によりご家族の不安や精神的苦痛を少なくする事に心がけた。
 - ②お客様の状態を細かく伝え、情報の共有を図った。
 - ③面会時、お客様とご家族の時間を大切にする環境を整える事が出来た。
 - ④お客様の一番近くにいて共に生活をする介護職員からの日常的な報告により、ご家族の一番の安心感に繋がった。

*担当職員の明確化の実践

- ①担当職員の役割をご家族に伝える事で、安心感に繋がりを図り安心感につながった。
- ②担当職員がお客様やご家族にとって一番の理解者になり、細かいニーズに対応する事でより親密感が図れた。
- ③退所の手続きの際、担当ユニット介護職員とご家族が思い出を語り合う時間を作る事でご家族様と親密化が図れた。

*新規入所の対応をスムーズに実施。

- ①ロングステイ利用者を入所の待機者と捉え、サービス開始時から情報を共有し24時間365日の施設内におけるニーズの洗い出しからモニタリングに繋げる事によりスムーズな入所が図れた。

- ②入所申し込み関係書類の整備を図った。

介護度の変化・ご本人やご家族状況の変化を随時確認する事でスムーズな受入が図れた。

(1) 施設内研修

リスクマネジメント会議

実施月	会議テーマ
4月	B・C・Dユニット 退所者への振り返り及び転倒等事故の総括
6月	2名の看取りの振り返り
7月	リスクの高い新規利用者へのカンファレンス
9月	新規利用希望者情報
10月	在宅 インフルエンザ・ノロウイルス等感染に対する対応
11月	在宅 腰痛予防について
29年1月	デイ利用者への在宅生活へのカンファレンス

(2) 部署別会議

部署	実施月	会議テーマ
A ユニ ット	4月	事業形態の見直し 〈検討〉 ケアプラン完成に伴いユニット内での方向性の検討 車イスの管理について 〈伝達〉 給食会議より今年度目標、活動内容〈周知徹底と意見の吸い上げ 〈伝達〉 業務変更事項 水分摂取量・勤務時間別・入浴担当・年間予定表について
	6月	〈報告〉 決裁について 安全委員会・地域包括ケア推進検討委員会について I様の見取り・F様の食事について
	12月	〈研修〉 ユニチャーム 小高様より排泄セミナー開設 腰痛予防について
	29年2月	次年度の体制について
B ユニ ット	4月	〈報告〉 法人事業計画について 〈報告〉 給食会議での報告
	6月	〈研修〉 ユニチャーム 小高様より排泄ケアについて 〈検討〉 S・E・S様の対応について
	10月	〈報告〉 感染拡大を防ぐために必要な物品と手順について 〈検討〉 S・Y・T・H・M・I様の対応について
	12月	〈研修〉 腰痛予防について 〈報告〉 次年度の事業計画について ケアプラン会議報告
	29年2月	〈報告〉 入所判定会議・今後の体制・ケアプラン会議について
C ユニ ット	4月	〈報告〉 法人事業計画について 〈報告〉 排泄委員より今後の取組について 〈検討〉 I・O様の処遇検討
	6月	〈研修〉 ユニチャーム 小高様より排泄セミナー開設
	10月	〈報告〉 拘束委員会よりミトンの使用について 各担当者よりA・K・W/O様の状態の報告
	12月	〈研修〉 腰痛予防について 〈報告〉 排泄委員より皮膚トラブルについて リハビリ委員より。拘縮者への対応について
	29年2月	〈報告〉 K様の状況について 〈検討〉 転落事故について
	4月	〈報告〉 法人事業計画について 〈報告〉 各委員より会議について 給食委員より 開催後は各自内容を確認し、疑問点や日々のきづきなど意見を用紙に記載する。
C ユニ ット	6月	感染委員よりおむつ交換時のエプロン使用について
	10月	〈研修〉 ユニチャーム 小高様より排泄セミナー開設
	12月	〈報告〉 感染委員より、感染時の対応について 〈研修〉 腰痛予防について
	29年2月	〈報告〉 リーダー会議より次年度方針・目標について 〈報告〉 ケアプランより
	6月	〈報告〉 リーダー会議より 〈検討〉 お客様F・Sの心身の状況について
デ イ サ ー ビ ス	10月	〈研修〉 排泄セミナー 健康2 1 3つの要素・運動・バランスの取れた食事・睡眠
	12月	〈報告〉 リーダー会議より次年度方針・目標について

(4) リーダー会議

実施月	会議テーマ
4月	① 法人改革について② 地域包括ケアについて
6月	
8月	① 施設における入所者等の安全確保（危機管理体制）について ② 厨房業務委託契約について③ 入所者判定会議
11月	①法人の組織体制について②28年11月以降の業務体制について 事業計画について
12月	
29年1月	ストレスチェック実施について
3月	次年度事業計画について

(5) 委員会活動

テーマ：委員会とは“資質向上のツール”と理解し質の向上・リスク管理につなげる

《排泄委員会》

<p>活動内容：個別ケア（排泄）を実現することで理念である【存在感のある生活】を提供する 人員に限界がある中でも、質の良い排泄ケアサービスの提供を目指す 〈具体的な取り組み〉 各部署及び各ユニットが年一回ユニチャーム 小高様より排泄セミナー開設</p>
--

《感染症対策委員会》

実施月	会議テーマ
4月	今年度の感染状況報告 特養：職員3名・お客様2名 デイ：お客様4名 目標：職員一人ひとりが感染拡大防止のための実技を身につける
10月	デイ利用者のMRSA3+の対応について

《身体拘束廃止委員会》

実施月	会議テーマ
5月	①身体拘束（虐待）廃止への自覚を促すことを目標にした研修実施（年一回・全職員対象） ②身体拘束について把握及び評価を実施し対策を検討する（月一回開催）
6月	
7月	SS利用者原状確認及び今後の対応
8月	SS利用者原状確認及び今後の対応
11月	特養 S様原状確認及び今後の対応
12月	特養 S様原状確認及び今後の対応

《褥瘡対策委員会》

実施月	会議テーマ
4月	対象者2名の現状確認及び対応
5月	対象者1名の現状確認及び対応
8月	現状確認及び対応
10月	SS利用者の評価と今後の対応

《防災委員会》

実施月	会議テーマ												
5～11月	①避難訓練の実施（実施義務 年3回） <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施日</th> <th>訓練内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>5月25日</td> <td>火災想定</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>9月28日</td> <td>夜間火災想定</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>11月25日</td> <td>地震から火災想定</td> </tr> </tbody> </table> ②エレベーター救出訓練の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・エレベーター内に閉じ込められたことを想定し実際にエレベーター内部、外部からの救出方法を学ぶ（年2回実施） ③防災点検の実施 随時、委員が担当箇所を点検し委員長に報告		実施日	訓練内容	第1回	5月25日	火災想定	第2回	9月28日	夜間火災想定	第3回	11月25日	地震から火災想定
	実施日	訓練内容											
第1回	5月25日	火災想定											
第2回	9月28日	夜間火災想定											
第3回	11月25日	地震から火災想定											

《安全委員会》

実施月	会議テーマ
4月	短期入所「見取りに付いての事前確認書」原案説明
5月	産業医 プチうつについての説明・普通救命講習Ⅰ 参加人数 12
6月	産業医：健康診断結果より健康指導
7月	産業医：健康診断結果より健康指導 心肺蘇生法講習会 参加職員 12人 心肺蘇生法 参加人数 8名
8月	産業医：健康診断より健康指導・通所介護「見取りに付いての事前確認書」原案説明
9月	産業医：健康指導「タバコの害について」・心肺蘇生法 参加人数 8名
10月	産業医：インフルエンザ等対策特別措置法について
11月	産業医：労働災害防止について・普通救命講習Ⅰ 名参加人数 10名
29.1月	短期「看取りについての事前確認」について・産業医：健康診断より健康指導
2月	産業医：健康診断より健康指導
3月	産業医：健康診断より健康指導

《給食委員会》

活動内容	会議テーマ
給食方針	最後まで自分の力で口から食べることを目標とし、人として生きていく上で大事な食事を通し、人としての喜を感じていただけるような支援をする
テーマ	穏やかな終末期を迎えるために、穏やか生活を支える食事（食事で健康管理を）
1. 食事からの疾病予防・重症化予防 (1) 個々のニーズに対応出来るように選択できる食事の提供 (2) 健康づくり栄養講座の開催	・食事を通してお客様の自立支援やQOLの向上 具体策：行事食では、委託会社の協力のもとに寿司キャラバンやおやつバイキングを実施していく。 ※体重や食事摂取量が減少傾向の方に食事形態の変更や補助食品の検討を行い、重度化の予防を図る。 具体策 ①職員：給食会議を利用した栄養管理 ・給食委員は食事についての知識を他の職員より理解し、食事のアドバイスや問題解決できる目線をつけ、栄養管理を行う。食事に関する事例検討を行い、知識の習得・問題解決を行う。 ②特養：糖尿病・心臓疾患・腎臓病・COPDパーキンソン病等疾患のあるお客様に対し栄養講座を開設する。 ③在宅：糖尿病・心臓疾患・腎臓病・COPDパーキンソン病等疾患のあるお客様に対し栄養講座を開設する。

<p>2. 療養食・ターミナル食の献立作成 ご家族の意向と、本人が喜ぶ食材を一口でも提供</p>	<p>具体策 ①食事、補助食品の提供によりターミナル期栄養面・精神面を支える。 ②衛生管理を基本に安全に提供できるようにする。 家族のニーズを叶えるため、食品の持込を可とする。 但しリスク管理上、保存食として 50g 冷凍で 2 週間の保存又は製造元、消費・賞味期限の把握が出来るラベルの保管を行う。</p>
<p>3. 給食会議の活用と周知徹底・意見調整</p>	<p>「健康づくり講座」の開催 具体策：会議の伝達、周知徹底と意見の吸い上げが出来る体制を作る。議事録に氏名や意見を記入できる枠の作成し、ユニット内の記入等をチェックしたものをユニットで保管する。</p>
<p>実施月</p>	<p>会議テーマ</p>
<p>4 月 5 月 6 月 7 月 8 月 9 月 10 月 11 月 12 月 29 年 1 月 2 月 3 月</p>	<p>①入所者栄養評価 ②行事食の反省及び 5・6 月の行事食について ③給食委員の活動内容今年度の目標 ①意見記入表について ②入居者の栄養評価 ③クレームについて ④行事食について ①クレームについて②行事食（和食の日・県民の日）の反省 七夕・海の日・土用の丑の日等予定の報告 ①クレームについて ②反省（七夕昼食） ①入所者の栄養評価。②行事職の反省 ① 所者の栄養評価 ② 9 月 10 月 11 月行事職の立案 ①入所者の栄養評価 ②11 月寿司キャラバンについて（今までの寿司キャラバンの反省をもとに改善点、要望を確認する 10 月行事食の反省 ②11 行事食の立案 12 月 1 月行事食の立案 ①入所者の栄養評価 ②行事食の反省（福もちの大きさの感想 ③新年の挨拶とお神酒提供の流れの確認 ④次回の寿司キャラバンの日程の確認 ① 所者の栄養評価 ②クレームについて ③3 日 11 日行事食について ④次年度行事食（和食の日・寿司キャラバンの日程について） ①入所者の栄養評価②クレームについて③行事食の反省④意見表の回答</p>